

ひろいしの里

第51号

九月号

今年も洲本市五色健康福祉総合センターの地域交流納涼祭に参加しました。

屋台の焼きそばやおでん、赤飯をいただきながら「家のご飯も美味しいけど、こんなもええな」と話され、ホームとはまた違った雰囲気のある食事を楽しまれました。

阿波踊りやキッズエアロビクスなどの催しに「こんなもええもん見せてもらって」と笑顔で話されました。



地域交流納涼祭



2012年9月10日発行 (平成24年)

656-1333
洲本市五色町広石上113
グループホーム
ひろいしの里
TEL 0799・35・1201
FAX 0799・35・1201

美しいものを
美しいと思える
あなたの心が美しい
相田 みつを

サルビアレンジャー福引き大会で

景品が当たりました！！



聞いて 聴いて

(支援員を呼ぶ際に)

利用者

「ちよいとお姉さん」

支援員

「まあ、お姉さんなんて呼んでもらえて嬉しいわ」

その後別の職員に小声でアドバイス利用者

「言葉はなあ、あないしてちよつとええように言うたらええねんで、覚えときよ」

(花瓶に花が並んでいるのを見て)

支援員

「花盛りやなあ」

利用者
「姉ちゃん、そこだけ違うで、前も花盛りやで」

お知らせ

避難訓練

日時：9月25日(火)
14:00~

ひろいしの里 敬老祝賀会

日時：9月30日(日)
13:30~

※三味線や落語ボランティアを予定しています。

認知症サポーター養成講座

8月に洲本市社会福祉協議会と「しきの会」の方を招き、2回に渡り、認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。認知症サポーターには、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など様々な方がおり、全国に340万人を超える認知症サポーターが誕生しています。



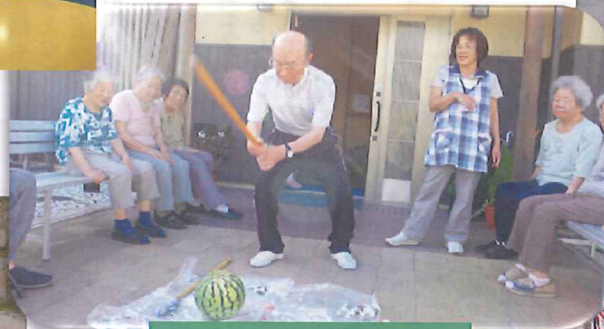
夏の思い出



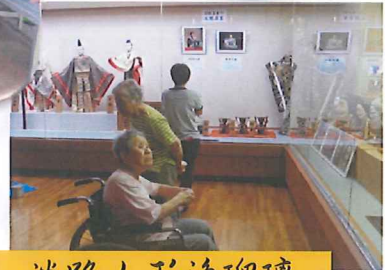
お茶会



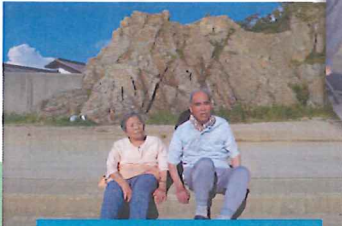
境寺九日祭り



スイカ割り



淡路人形浄瑠璃
資料館



夫婦水入らず



お誕生日

おめでとうございます！



介護技術研修

当ホームも開設5年目となり、入居されている方の身体状況の変化に対応できるよう、より一層の介護技術の向上が求められています。

そこで、8月15日の職員会議の時間を使って介護技術研修を実施しました。

利用者の個別の身体状況に合わせて安全に入浴ができるように実技を交えて、入浴用のバスボードを使った介護方法について学び合うことができました。

これからも、利用者の方にゆったりと家庭浴を楽しんでいただけるよう支援していきたいと思えます。



編集後記

夏が・・・過ぎようとしています。

田んぼの稲穂もうつむき始め、秋の訪れを告げているように思います。

夏から秋の移ろいを感じながらも、季節の変わり目に体調を崩さないよう、利用者様・職員共々、体調管理を怠らないように努めています。

知って得する 知っ得コーナー

健康の為に胃腸を強くしよう！！

東洋医学では冷たい水を液(エキ)、温かい水を津(シン)と言い、津(温かい水)は薬になるが、液(冷たい水)は害になると説きます。

津(シン)は水の分子がバラバラで、粒子が細かいので、細胞膜を通過していきます。

その時、老廃物と一緒に古い水を押し出して行くので、細胞が常に若い状態で保たれます。

また、病気の原因である油分を掃除していくことにもなるのです。



温かい水を飲もう！！



チロ